

おおた環境チャレンジレポート

年 月 日

太田市長 様

事業所名称

事業所責任者

印

環境保全担当者

印

太田市と 年 月 日付で締結したおおた環境チャレンジ協定第10条及び第11条の規定に基づき、次のとおり地球環境を保全するための行動計画及び行動実績を報告します。

報告年度	年度 (年 月 日 ~ 年 月 日)
------	----------------------

住所 (所在地)	太田市
事業所名	
事業所責任者	(職氏名)
環境保全担当者	(部署名) (氏名)
担当者連絡先 TEL	
FAX	
E-mail	

I. 事業概要

業種			
事業内容			
事業規模	報告年度実績	新年度計画	_____年度目標
製品出荷量 (t)			
製品出荷金額 (百万円)			
従業員数 (人)			
敷地面積 (m ²)			

※年度目標は各事業者で年度(中期目標年度)を設定してください。

II. 環境マネジメント

※ISO14001等の環境マネジメントシステム認証事業所は資料添付により省略可

1. 環境方針

環境方針

1.

2.

3.

4.

2. 環境管理組織

環境管理組織図

Ⅲ. 環境保全行動計画&実績

◎報告する項目

該当 は■	細目協定の条項	報告シート (任意様式も可)	報告の 有無
☐	第1条 地球温暖化防止対策	1-①、③、④	
☐	第2条 オゾン層破壊物質の排出の抑制	1-⑤	
☐	第3条 窒素酸化物等の排出量の削減	1-⑥	
☐	第4条 周辺環境の整備	1-⑦	
☐	第5条 廃棄物の減量化及び再資源化	2-①	
☐	第6条 拡大生産者責任理念		
☐	第7条 再生可能エネルギーの利用	1-②	
☐	第8条 グリーン購入の促進		
☐	第9条 ゼロエミッションへの転換推進	2-②	
☐	第10条 エコドライブの実施	3-①	
☐	第11条 アイドリングストップの促進	3-①	
☐	第12条 物流の合理化	3-②	
☐	第13条 化学物質の排出量等の削減	4	
☐	第14条 燃焼機器の使用燃料		
☐	第15条 小規模燃焼機器の制限	5-①	
☐	第16条 燃料使用量削減協力	5-②	
☐	第17条 大気汚染物質発生施設のメンテナンス		
☐	第18条 水質未規制事業場		
☐	第19条 マイクロプラスチックによる水環境汚染の防止対策	5-③	
☐	第20条 排水の化学物質に係る水質基準	6	
☐	第21条 事故の防止		
☐	第22条 油流出防止対策		
☐	第23条 放流先水路の保全	5-④	
☐	第24条 排水水等自主点検	6	
☐	第25条 地下水保全対策	5-⑤	
☐	第26条 未規制施設における土壌汚染対策	5-⑥	
☐	第27条 土壌汚染防止対策	6	
☐	第28条 騒音振動未規制事業場	6	
☐	第29条 騒音及び振動の測定	6	
☐	第30条 悪臭発生施設の適正管理		
☐	第31条 臭気測定	6	
☐	第32条 光害の防止		
☐	第33条 環境フェア等への参加		

※報告シートの設定がない項目については、任意様式での報告をお願いします。

※環境レポート等に本協定と同様の取り組み内容を掲載している場合は、環境レポート等を添付することで報告シートの入力(又は任意様式の作成)に代えることができます。

1. 地球温暖化防止対策等 ※単位は必要に応じて変更してください。

①二酸化炭素排出量

単位:kg

		報告年度実績		新年度計画		____年度目標	
エネルギー	CO ₂ 排出係数 A	エネルギー 使用量 B	CO ₂ 排出量 A×B	エネルギー 使用量 B	CO ₂ 排出量 A×B	エネルギー 使用量 B	CO ₂ 排出量 A×B
購入電力		0.475(kg/kwh)	(kwh)	(kwh)		(kwh)	
燃 料	灯油	2.49(kg/L)	(L)	(L)		(L)	
	A 重油	2.71(kg/L)	(L)	(L)		(L)	
	LPG	3.00(kg/kg)	(kg)	(kg)		(kg)	
	都市ガス	2.23(kg/m ³)	(m ³)	(m ³)		(m ³)	
自動車 用	ガソリン	2.32(kg/L)	(L)	(L)		(L)	
	軽油	2.58(kg/L)	(L)	(L)		(L)	
CO ₂ 排出量合計							
前年度比(%)							
製品出荷量(t)又は金額(百万円)							
CO ₂ 排出量÷製品出荷量又は金額							

※排出係数は環境省ホームページ等で確認し、必要に応じて修正してください。

②再生可能エネルギーの導入

単位:kwh

種 類	報告年度実績	新年度計画	____年度目標
太陽光			
バイオマス			
風力			
水力			
地熱			
計			
前年度比(%)			

③二酸化炭素排出量実質ゼロにむけた主な取り組み

〇〇〇〇年度実績	〇〇〇〇年度計画
・ ・ ・	・ ・ ・

④二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出量

単位:kg

種 類	報告年度実績	新年度計画	_____年度目標
ハイドロフルオロカーボン			
パーフルオロカーボン			
メタン			
一酸化二窒素			
六フッ化硫黄			
計			
前年度比(%)			

⑤オゾン層破壊物質の排出量

単位:kg

	報告年度実績	新年度計画	_____年度目標
クロロフルオロカーボン			
ハロン			
四塩化炭素			
1,1,1-トリクロロエタン			
ハイドロクロロフルオロカーボン			
ハイドロプロモフルオロカーボン			
プロモクロロメタン			
臭化メチル			
計			
前年度比(%)			

⑥窒素酸化物等の排出量(事業用自動車が排出するものを除く)

単位:kg

	報告年度実績	新年度計画	_____年度目標
窒素酸化物			
硫黄酸化物			
計			
前年度比(%)			

⑦事業場周辺環境の整備状況

報告年度実績	新年度計画
・ ・ ・	・ ・ ・

2. 資源の循環利用の促進等 ※単位は必要に応じて変更してください。

①廃棄物排出量及び再資源化率（報告年度実績）

単位: t

	廃棄物の種類 ※任意設定	廃棄物発生量 A	資源循環量 B	廃棄物排出量 C = A - B	再資源化率(%) D = B ÷ A × 100
一般廃棄物	(例)紙				
	一般廃棄物小計				
産業廃棄物	(例)汚泥				
	産業廃棄物小計				
合 計					

	報告年度実績	新年度計画	_____年度目標
廃棄物排出量(t)			
再資源化率(%)			
前年度比(%)			

②ゼロ・エミッションにむけた主な取り組み

報告年度実績	新年度計画
・ ・ ・	・ ・ ・

3. 自動車交通公害の防止等

①エコドライブやアイドリングストップの普及啓発のための主な取り組み

報告年度実績	新年度計画
・ ・ ・	・ ・ ・

※事業所に入出入りする他社が使用する車両については除く。

②物流の合理化のための主な取り組み

報告年度実績	新年度計画
・ ・ ・	・ ・ ・

4. 化学物質の排出・移動量（報告年度実績）

※単位は必要に応じて変更してください。

単位:kg

化学物質名	排出量	移動量	合計

単位:kg

	報告年度実績	新年度計画	_____年度目標
化学物質排出量			
前年度比(%)			

5. 大気・水質・土壌・地下水環境保全対策等 ※単位は必要に応じて変更してください。

①小規模燃焼機器の制限

小規模燃焼機器の台数 A	Aのうち『推奨がイドライン 値』を満たす台数 B	『推奨がイドライン値』を 満たす割合 $B \div A \times 100$	_____年度目標
(台)	(台)	(%)	(%)

②光化学オキシダント注意報又は警報発令時の燃料使用量削減協力

注意報又は警報の発令日	燃料使用量の削減に努めた内容
	・ ・
	・ ・
	・ ・
	・ ・

※注意報又は警報については『おおた安全・安心メール』で受信できます。

③マイクロプラスチックによる水環境汚染の防止対策

報告年度実績	新年度計画
・ ・ ・	・ ・ ・

④放流先水路の保全

調査日	水路の状況
(例)令和3年1月1日	(例)異常なし

⑤水資源使用量

単位:m³

使用水の種類	報告年度実績	新年度計画	_____年度目標
上水道			
工業用水			
地下水			
水使用合計			
前年度比(%)			

※使用水の種類は選択して記入して下さい。

⑥特定施設以外での有害物質使用・保管等の状況

有害物質名	使用・保管状況	使用・保管量	地下浸透防止対策
(例)ふっ素化合物	(例)商品として瓶詰め の状態で倉庫に保管	(例)500ml×100本を 在庫として保管	(例)保管庫に防液堤の 設置及び床面コーティング

⑦その他環境保全対策等

報告年度実績	新年度計画
・ ・ ・	・ ・ ・

※その他特記すべき実績や計画があれば記載してください。

6. 自主測定状況

①自主測定計画（新年度計画）

種類	測定の有無 (有は○)	測定頻度	自主管理値の設定 (有は○)	測定地点
大気				
水質				
水質 (要監視項目)				
地下水				
地下水 (要監視項目)				
騒音				
振動				
悪臭				

※自主管理値を設定したものについては、種類ごとに自主管理値の一覧を添付してください。

②自主管理値に対する達成度（報告年度実績）

種類	測定回数 A	超過回数 B	達成度(%) $(A - B) \div A \times 100$
大気			
水質			
水質(要監視項目)			
騒音			
振動			
悪臭			

※水質については、1項目でも超過があった測定は超過回数1としてカウントしてください。

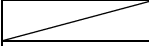
※複数の地点で水質を測定するなど、同じ測定の種類において複数地点を測定する場合は、それぞれの測定を1回としてカウント及び評価してください。

※自主管理値の設定がない場合は法律や条例の基準に対する達成度を算出してください。

③自主測定実績（報告年度実績）

測定結果の一覧表を添付してください(計量証明書がある場合は併せて添付)。

A 水質の自主管理値 ※すべての排出口における自主管理値としてください。

設定は■	項目名	自主管理値		
☐	水素イオン濃度			
☐	生物化学的酸素要求量	mg/L以下		
☐	化学的酸素要求量	mg/L以下		
☐	浮遊物質	mg/L以下		
☐	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱物油類含有量)	mg/L以下		
☐	ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)	mg/L以下		
☐	フェノール類含有量	mg/L以下		
☐	銅含有量	mg/L以下		
☐	亜鉛含有量	mg/L以下		
☐	溶解性鉄含有量	mg/L以下		
☐	溶解性マンガン含有量	mg/L以下		
☐	クロム含有量	mg/L以下		
☐	大腸菌群数(日間平均値)	個/cm ³ 以下		
☐	窒素含有量	(最大)	mg/L以下、(日間平均)	mg/L以下
☐	リン含有量	(最大)	mg/L以下、(日間平均)	mg/L以下
☐	ホルムアルデヒド	mg/L以下		
☐	カドミウム及びその化合物	mg/L以下		
☐	シアン化合物	mg/L以下		
☐	有機りん化合物	mg/L以下		
☐	鉛及びその化合物	mg/L以下		
☐	六価クロム化合物	mg/L以下		
☐	砒素及びその化合物	mg/L以下		
☐	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L以下		
	アルキル水銀化合物	検出されないこと		
☐	ポリ塩化ビフェニル	mg/L以下		
☐	トリクロロエチレン	mg/L以下		
☐	テトラクロロエチレン	mg/L以下		
☐	ジクロロメタン	mg/L以下		
☐	四塩化炭素	mg/L以下		
☐	1,2-ジクロロエタン	mg/L以下		
☐	1,1-ジクロロエチレン	mg/L以下		
☐	シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L以下		
☐	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L以下		
☐	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L以下		
☐	1,3-ジクロロプロペン	mg/L以下		
☐	チウラム	mg/L以下		
☐	シマジン	mg/L以下		
☐	チオベンカルブ	mg/L以下		
☐	ベンゼン	mg/L以下		
☐	セレン及びその化合物	mg/L以下		
☐	ほう素及びその化合物	mg/L以下		
☐	ふっ素及びその化合物	mg/L以下		
☐	アモニア、アモニウム化合物、亜硝酸化合物、硝酸化合物	mg/L以下		
☐	1,4-ジオキサン	mg/L以下		

B 水質(要監視項目)の自主管理値

設定は■	項目名	自主管理値	指針値の10倍の値 (参考)
☐	クロホルム	mg/L	0.6mg/L以下
☐	トランス-1,2-ジクロエチレン	mg/L	0.4mg/L以下
☐	1,2-ジクロプロパン	mg/L	0.6mg/L以下
☐	p-ジクロベンゼン	mg/L	2mg/L以下
☐	イソキサチオン	mg/L	0.08mg/L以下
☐	ダイアゾノ	mg/L	0.05mg/L以下
☐	フェントロチオン(MEP)	mg/L	0.03mg/L以下
☐	イソプロチオン	mg/L	0.4mg/L以下
☐	オキシ銅(有機銅)	mg/L	0.4mg/L以下
☐	クロタニル(TPN)	mg/L	0.5mg/L以下
☐	プロピザミド	mg/L	0.08mg/L以下
☐	EPN	mg/L	0.06mg/L以下
☐	ジクロボス(DDVP)	mg/L	0.08mg/L以下
☐	フェノカルブ(BPMC)	mg/L	0.3mg/L以下
☐	イプロネホス(IPB)	mg/L	0.08mg/L以下
☐	クロニトロフェン(CNP)	mg/L	—
☐	トルエン	mg/L	6mg/L以下
☐	キシレン	mg/L	4mg/L以下
☐	フタル酸ジエチルヘキシル	mg/L	0.6mg/L以下
☐	ニッケル	mg/L	—
☐	モリブデン	mg/L	0.7mg/L以下
☐	アンチモン	mg/L	0.2mg/L以下
☐	塩化ビニルモノマー	mg/L	0.02mg/L以下
☐	エピクロヒドリン	mg/L	0.004mg/L以下
☐	全マンガソ	mg/L	2mg/L以下
☐	ウラン	mg/L	0.02mg/L以下

※すべての排出口における自主管理値としてください。

C 大気の自主管理値

大気の自主管理値及び設定する施設等については、任意様式で報告をお願いします。

D 騒音の自主管理値

設定は■	時間帯	自主管理値
☐	(朝) : ~ :	d B
☐	(昼) : ~ :	d B
☐	(夕) : ~ :	d B
☐	(夜) : ~ :	d B

E 振動の自主管理値

設定は■	時間帯	自主管理値
☐	(昼) : ~ :	d B
☐	(夜) : ~ :	d B

F 悪臭の自主管理値

設定は■	自主管理値
☐	

※自主管理値は臭気指数で設定してください。

◎ 測定場所の設定(騒音・振動・悪臭) ※敷地境界に設定してください。

(簡易の図面を記載又は添付)

④要監視項目等の測定

A 地下水における特定有害物質の濃度の監視

試料採取日： 年 月 日 試料採取地点： (GL- m)

使用する ものは■	特定有害物質	地下水 における濃度	地下水基準	適合状況 (○又は×)
☐	ホルミウム及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下	
☐	六価クロム化合物	mg/L	0.05mg/L以下	
☐	クロロエチレン	mg/L	0.002mg/L以下	
☐	シマジン	mg/L	0.003mg/L以下	
☐	シアン化合物	mg/L	検出されないこと	
☐	チオベンソール	mg/L	0.02mg/L以下	
☐	四塩化炭素	mg/L	0.002mg/L以下	
☐	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004mg/L以下	
☐	1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1mg/L以下	
☐	1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04mg/L以下	
☐	1,3-ジクロロベンゼン	mg/L	0.002mg/L以下	
☐	ジクロロメタン	mg/L	0.02mg/L以下	
☐	水銀及びその化合物	mg/L	0.0005mg/L以下 & アルキル水銀が検出されないこと	
☐	セレン及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下	
☐	テトラクロロエチレン	mg/L	0.01mg/L以下	
☐	チウラム	mg/L	0.006mg/L以下	
☐	1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	1mg/L以下	
☐	1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006mg/L以下	
☐	トリクロロエチレン	mg/L	0.03mg/L以下	
☐	鉛及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下	
☐	砒素及びその化合物	mg/L	0.01mg/L以下	
☐	ふっ素及びその化合物	mg/L	0.8mg/L以下	
☐	ベンゼン	mg/L	0.01mg/L以下	
☐	ほう素及びその化合物	mg/L	1mg/L以下	
☐	ポリ塩化ビフェニル	mg/L	検出されないこと	
☐	有機りん化合物	mg/L	検出されないこと	

※計量証明書の写しを添付してください。

B 地下水における特定自主管理物質の監視

試料採取日： 年 月 日 試料採取地点： (GL- m)

使用する ものは■	特定自主管理物質 (地下水要監視項目)	地下水における濃度	地下水要監視項目 の指針値	適合状況 (○又は×)
☐	クロホルム	mg/L	0.06mg/L以下	
☐	1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.06mg/L以下	
☐	p-ジクロロベンゼン	mg/L	0.2mg/L以下	
☐	トリクロロエチレン	mg/L	0.008mg/L以下	
☐	ダイオキシン	mg/L	0.005mg/L以下	
☐	フェニトロチオン(MEP)	mg/L	0.003mg/L以下	
☐	トリプロチオン	mg/L	0.04mg/L以下	
☐	枯シ銅(有機銅)	mg/L	0.04mg/L以下	
☐	クロタロニル(TPN)	mg/L	0.05mg/L以下	
☐	プロピザミド	mg/L	0.008mg/L以下	
☐	EPN	mg/L	0.006mg/L以下	
☐	ジクロロボス(DDVP)	mg/L	0.008mg/L以下	
☐	フェノバカルブ(BPMC)	mg/L	0.03mg/L以下	
☐	イプロメノホス(IPP)	mg/L	0.008mg/L以下	
☐	クロロトリフェニル(CNP)	mg/L	—	—
☐	トルエン	mg/L	0.6mg/L以下	
☐	キシレン	mg/L	0.4mg/L以下	
☐	フタル酸ジエチルヘキシル	mg/L	0.06mg/L以下	
☐	ニッケル	mg/L	—	—
☐	モリブデン	mg/L	0.07mg/L以下	
☐	アンチモン	mg/L	0.02mg/L以下	
☐	エビクロヒドリ	mg/L	0.0004mg/L以下	
☐	全マンガン	mg/L	0.2mg/L以下	
☐	ウラン	mg/L	0.002mg/L以下	

※計量証明の写しを添付してください。

IV. 環境法令規制遵守（報告年度実績）

該当法規	該当は○	違反した場合は該当する条項又は内容を記入
大気汚染防止法		
水質汚濁防止法		
土壌汚染対策法		
騒音規制法		
振動規制法		
悪臭防止法		
浄化槽法		
廃棄物処理法		
省エネルギー法		
PRTR法		
フロン排出抑制法		
温暖化対策推進法		
群馬県条例		
その他条例等		

改善勧告・行政指導があればその内容と対応

--

V. 苦情発生と対応（報告年度実績）

苦情発生年月日	苦情内容	法規制遵守の有無	対応

VI. その他の環境活動

1. 周辺環境の整備（報告年度実績）

活動日	活動内容	活動場所	参加人数

2. 環境レポートの公表

環境レポート、CSRレポート、WEB等で公表した場合はコピーを添付して下さい。

3. その他

年間をととした環境保全活動で、特にアピールしたいことがあれば、自由にお書きください。

市のホームページ等に掲載するときの参考にさせていただく場合があります。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and run across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.